授業科目名	社会常識Ⅰ	学年	1	学 科	ITビジネス科	年度	2026
担当教員名	押川 知寛						
授業の方法	講義	科目区分	必修	学期	通年	単位数	4	時間数	60
実務 / 指導経験	ITビジネス科における企業連携業務、及び就職指導部での学生指導や企業開拓等の就職関連業務に携わる。						
授業の概要 :実務/指導経験を活かした教育内容	社会人常識マナー検定3級の合格を軸に、IT業界の選考を突破する「生存戦略」を習得します。前半は挨拶・敬語・電話応対等の基礎を演習で体得し、個別面談を通じて自己分析を深化させます。後半はSPI等の筆記試験対策、履歴書作成、企業研究を重点的に行い、就職活動本番で「選ばれる人材」となるための実戦的スキルを個別指導で磨き上げます。						
授業の到達目標	1.ビジネスシーンに応じた適切な言葉遣いと振る舞いを実践できる。						
	2.筆記試験および履歴書作成において、採用試験の合格水準に到達する。						
	3.自身の適性と志望動機を論理的に整理し、対人場面で正確に伝えられる。						
成績評価の方法	方法	定期試験:60% ・ 平常点:40%　　※前期と後期で評価し、その平均が通年評価					
	基準	A(100～80) ・ B(79～70) ・ C(69～60) ・ D(59～0)					
準備学習・事後学習等	・授業内容や面談での指摘を反映し、自己分析を深化させ、履歴書を最新の状態へ更新する。 ・授業で習った分野について、SPI対策もしておくこと。						
テキスト	有	社会人常識マナー検定テキスト 2・3級　第2版 [エデュプレス]					
参考書等	有	令和8年度版 社会人常識マナー検定試験 過去問題集 3級 [清水書院]					
その他 :学生に対する要望、メッセージ等	社会人としてのマナーやコミュニケーション能力は、技術者が現場で信頼を築くための不可欠な基礎技能です。検定合格を一つの目標としつつ、採用選考に耐えうる筆記能力と、自身の考えを正確に伝える表現力を磨いてください。プロとしての自覚を持った真摯な取り組みを期待します。						

授業計画

内容			
1	ガイダンス	31	検定対策(社会常識)
2	検定対策(社会常識)	32	検定対策(社会常識)
3	検定対策(社会常識)	33	検定対策(社会常識)
4	検定対策(社会常識)	34	検定対策(社会常識)
5	検定対策(社会常識)	35	検定対策(社会常識)
6	検定対策(社会常識)	36	検定対策(社会常識)
7	検定対策(社会常識)	37	検定対策(社会常識)
8	検定対策(コミュニケーション)	38	検定対策(コミュニケーション)
9	検定対策(コミュニケーション)	39	検定対策(コミュニケーション)
10	検定対策(コミュニケーション)	40	検定対策(コミュニケーション)
11	検定対策(コミュニケーション)	41	検定対策(ビジネスマナー)
12	検定対策(コミュニケーション)	42	検定対策(ビジネスマナー)
13	検定対策(コミュニケーション)	43	検定対策(ビジネスマナー)
14	コミュニケーション・グループ活動	44	コミュニケーション・グループ活動
15	コミュニケーション・グループ活動	45	コミュニケーション・グループ活動
16	コミュニケーション・グループ活動	46	コミュニケーション・グループ活動
17	コミュニケーション・グループ活動	47	コミュニケーション・グループ活動
18	コミュニケーション・グループ活動	48	コミュニケーション・グループ活動
19	コミュニケーション・グループ活動	49	コミュニケーション・グループ活動
20	検定対策(ビジネスマナー)	50	就職活動対策
21	検定対策(ビジネスマナー)	51	就職活動対策
22	検定対策(ビジネスマナー)	52	就職活動対策
23	検定対策(ビジネスマナー)	53	就職活動対策
24	検定対策(ビジネスマナー)	54	就職活動対策
25	検定対策(ビジネスマナー)	55	就職活動対策
26	就職活動対策	56	就職活動対策
27	就職活動対策	57	就職活動対策
28	就職活動対策	58	就職活動対策
29	就職活動対策	59	就職活動対策
30	就職活動対策	60	就職活動対策